

君はオバケを見たか？

渡 辺 友 彦

幸か不幸か、未だオバケを見たことがない、と思う。断言できないのは持って生まれた性格的なものか。いやいや、「オバケは見える人には見える」ものらしい。僧籍にある立派なお寺の住職さんのお話だから間違いはない。お化けは、化けて怪しげな姿になったものの総称で靈魂の類と妖怪と怪物を意味するらしい。それぞれに対するイメージは、若干異なるのだが、人知の及ばぬ不思議な事や未知な物・現象に対する強い畏怖の念を感じる。オバケとは、その対処法が分からない問題が起きた時の不安や恐怖心が生み出す見えざる姿なのかもしれない。

3.11東日本大震災直後、見えないものに対する恐怖に、シーベルトという耳慣れない放射線の数値が公表された。そして、日を追うごとに各地の空間線量及び個々の食物食品線量が測定され、大々的に公開されるようになった。公共機関がより詳細に数値化することによって、生活の安全性を担保しようとする報道が広がった。そのころ新たに安心という言葉が加わった。「安全と安心は違う、安全安心を保障して欲しい。」と、さらに様々な不安に対する訴えが声高に叫ばれた。

子供を持つ家庭からこれから障害が発生する、あるいはこれから産まれてくる子供が障害を持って生まれてくる不安や恐怖が日々語られた。その時、ひとりの身障者を持つ親御さんの言葉がかぶさった。「どんな状況であっても、障害を持った子供は一定の割合で生まれてくるのです。」その人は静かに語りかけてくれた。ここでの障害に対する思いは幾重にもよじれている。果たしてその明確な回答は有るのだろうか。

医療の現場では、エビデンスという言葉が多用され重視されます。「エビデンス」を辞書で引いてみると根拠、証拠、証明と書かれています。つまり、私たちが日々の診療の中で選択し行われている治療法が正しく、薬や治療方法、検査方法など、医療の内容全般について、それがよいと判断できる証拠を指すからです。

医療用語としてのエビデンスは、①臨床結果、検証結果などの科学的根拠②この治療法や薬が良いといえる証拠③その選択をする根拠の事を表します。つまりこの場合のエビデンスは、「データによって客観的に証明された」ものである必要があります。

実際に患者さんに対して、最近では、治療法が高度になり、薬の種類も増えました。そこで、どういった場合にどの様な治療法や薬が最も効果があるのか、実際に沢山の患者さんを対象に調査研究を行っています。私たち歯科医師は個人的な経験や勘に頼らず、そうした幅広い調査研究に基づいて、診療をしている事を説明することが求められています。

江戸時代は、「風が吹けば桶屋が儲かる」と、言われたそうです。つまり、大風で土

ぼこりが立つ→土ぼこりが目に入って、盲人が増える→盲人は三味線を買う→三味線に使う猫皮が必要になりネコが殺される→ネコが減ればネズミが増える→ネズミは桶をかじる→桶の需要が増え桶屋が儲かる。となるからだそうです。

そこで、歯科医学に関する良い研究論文や臨床結果・検証結果発表が沢山あると誰が儲かるのでしょうか。臨床現場にいる私のような開業医でしょうか。確かに経済的裏打ちが必要です。共に歯科医療に携わる歯科衛生士さんを始めとするスタッフの環境を整え、質の高い歯科医療の提供のためには一つの重要な要素ではあると思います。しかし、その先の本当の利益需給者は誰でしょうか。

先日、母校奥羽大学の基礎系のO教授のご講演を拝聴しました。近い将来の日常の臨床診療に関係する身近な研究テーマで以前から興味を持ち、これまでも数回講演会に参加させていただいていました。講演会後の懇親会の席上、先生の研究テーマについて伺った時お答えいただいた言葉です。「まず第一に、自分自身が一番興味を持つ内容を研究テーマにしています。そして、出来るだけ多くの人の研究や直接あるいは間接的な意見をヒントに新たな実験を繰り返し更なる研究を進めています。常に心掛けているのは、原因やメカニズムを解明する事によって臨床の場にご貢献する事です。そのことで広く国民の皆さんの健康を守るために私たちは研究を重ねているという事です。」この時、講演時の情熱溢れる口調と内容は、意思の根底にある国民の方の健康維持増進のためという明確な思いのためだと納得がいきました。私自身、毎日接している患者さんの痛みや未知なる症状に対する不安や心配にどう対応してきたのか、問いかけてみました。それぞれに明確に納得のいく説明が出来ているとはいいたいのが現状です。相手に理解いただくには、十分な知識と思いやりが必要なのは言うまでもありませんが、日々意識をもって診療や研究に取り組むことの大切さをお教えいただいた、と思います。

そうか、歯科医療を通じて地域医療にご貢献するには、日々の研鑽と常日頃からの研究発表に対する勉強が一番大切な事なのは間違いない。まあ、そこが一番悩ましいところではある。それははっきりしている。

(奥羽大学歯学部同窓会会長)